

□議員名：伊場 勇

1 小中学校の体育施設開放と ICT 環境について

論点	年間1万9,000人が使用している小中学校の体育施設開放について現状と課題はどうか。
回答	開放時間や目的などは規則に定めている。体育施設の開放時間をはやめてほしいという要望があるが、ポイントは学校教育上支障がないかどうかである。文言を追記することで対応できるか今後検討していきたい。

論点	市内小中学校のICT(パソコン)環境の現状とITモラル教育についてはどうか。
回答	平成32年度から始まる小学校でのタブレットを使ったプログラミング教育に向け準備を進めている。情報モラル教育については児童・生徒・保護者に対してインターネットトラブル事例集の活用し注意を促し、またスマートフォン等の過度な利用により生活習慣に乱れが生じないように指導している。

論点	市内小中学校のホームページの活用状況はどうか。
回答	現在学校ごとに仕様や更新頻度にばらつきがある。必要性は非常に高く、コミュニティ・スクールの推進や本市に子育て世代が転入を決断する際の重要なポイントの一つと考え指導していく。

2 子育て支援について

論点	子育て総合支援センタースマイルキッズの利用者が校区別にみるとばらつきがあることに対してどう考えるか。
回答	これからいかに周知し、遠くからも来ていただけるよう魅力あるイベント、企画を考えていく。

論点	スマイルキッズの予想以上の利用者の増加に対して職員の負担はどうか。
回答	負担がかかっている話は聞いていない。

論点	スマイルキッズと地域子育て支援センターとの連携についてはどうか。
回答	毎年度情報交換を実施しており、それぞれが良い環境を保ち、PRをしながら、相乗効果で市内の子育て支援が盛り上がる取り組みを進めていく。

論点	子育て支援アプリ「さんようおのだっこ」についてはどうか。
回答	アプリ登録者数は30年度目標600人に対して660人であり、33年度までには900人を目標に目指していく。アプリの内容については委託業者と毎年度協議をしている。